

令和6年度 決算報告書

国立大学法人名古屋工業大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,948	5,325	377	(注1)
うち補正予算による追加	-	-	-	
施設整備費補助金	391	441	49	(注2)
うち補正予算による追加	-	-	-	
補助金等収入	173	270	97	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	26	26	-	
自己収入	3,608	3,168	△440	
授業料、入学料及び検定料収入	3,273	2,763	△510	(注4)
雑収入	335	405	70	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,834	3,732	898	(注6)
目的積立金取崩	372	202	△170	(注7)
引当特定資産取崩	100	58	△41	(注8)
計	12,454	13,224	770	
支出				
業務費	9,134	9,035	△99	
教育研究経費	9,134	9,035	△99	(注9)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	417	467	49	(注10)
補助金等	68	171	103	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,834	3,203	369	(注12)
長期借入金償還金	-	-	-	
計	12,454	12,876	422	
収入－支出	-	347	347	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、決算額に前年度からの繰越金を含めて計上していることや、予算段階では予定していなかった教育・研究基盤維持経費の配分等により、予算額に比して決算額が377百万円多額となっています。

(注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった事業の交付により、予算額に比して決算額が49百万円多額となっています。

(注3) 補助金等収入については、受入額の増により、予算額に比して決算額が97百万円多額となっています。また、本収入には、授業料等減免費交付金が99百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。

(注4) 授業料、入学料及び検定料については、主として令和7年度入学者に係る前受授業料が例年より少額となったため予算額に比して決算額が510百万円少額となっています。

(注5) 雑収入については、研究成果有体物およびネーミングライツ事業等の増収により、予算額に比して決算額が70百万円多額となっています。

(注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究及び共同研究の受入れ増により、予算額に比して決算額が898百万円多額となっています。なお前期からの繰越額は541百万円となっています。

(注7) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していた見込額を執行しなかったため、予算額に比して決算額が170百万円少額となっています。

(注8) 引当特定資産取崩については、予算段階で予定していた見込額を執行しなかったため、予算額に比して決算額が41百万円少額となっています。

(注9) 教育研究経費については、執行計画の見直しや(注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が99百万円少額となっています。

(注10) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が49百万円多額となっています。

(注11) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が103百万円多額となっています。

(注12) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が369百万円多額となっています。